

---

# モグラパンジージャンプ

4 & 4 K

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

モグラバンジージャンプ

### 【Zコード】

Z9320E

### 【作者名】

4&4K

### 【あらすじ】

バンジージャンプに感動したモグラが、ジャンパーを目指す作品。

(前書き)

昔投稿した残骸を加筆したものです。  
中二病の能力が下がっていることを痛感しています。

その時、彼はある庭の花壇から顔を出し、あるテレビ番組を目撃してしまった。

「お父さん、バンジージャンプって凄いね！」

「ああ、父さんもやつたことがあるぞ。あれは恐い」

彼は花壇からのそのそと移動し、ゆっくり近づく。

「モ、モグウー！」

と、主人公のモグラは驚きの声を発した。

ちなみに、普通のモグラはそんな鳴き方はしない。そんなの聞いたこともない。聞いたことがある人がいたなら、それは彼しかいない。

「モグモグ！」

訳：こんなに素晴らしいものがあつたのか！

「モグモグモグ！」

訳：こりや、ミミズを食べている場合じゃないな！

モグラは穴を掘り始め、この家の庭から出ていった。

モグラは、偶然近くに落ちていた雑誌によつて、バンジージャンプの詳細を目にした。だが、所詮はモグラである。人様の文字が読めるはずはないのだが……モグラは感動していた。  
そして、動物的勘によつて文字を解読する。

「モグモグ！」

訳：山形県朝日村！

モグラは、山形県朝日村に向かつて地中を掘り進む。

途中で何度も挫けそうになりながらも、モグラはバンジージャンプのために必死になつて穴を掘りつけた。

空腹時、たまたま強襲した畑でモグラ用の罠に串刺しされそうになつたが、それも動物的勘で回避する。

希望に満ちた今の彼を止められるものはいないだろ？

数日が経ち、モグラはとつとつ山形県朝日村に到着した。山形県朝日村のバンジージャンプは、日本で一番最初にバンジージャンプを開催したことでも有名である。

梵字川に向かつて、ふれあい橋からジャンプは、約三四メートルの高さがある。

「モ、モグ……」

訳：た、高い……。

モグラにとつての三四メートルとは、どんな感じなのだろう。だが、このモグラは勇敢にもふれあい橋をゆっくりと渡り始める。そして、ここに来て、驚愕の事実を知ることとなる……。

「モ、モグウウウー！…」

訳：な、なにいいーーー！…

「モグモグモグウー！」

訳：年齢制限があるだとーーー

ここでは一三歳以上しかできないのである。

もちろんこのモグラは、そんなに生きてはいけない。根性でビックなる問題ではないのだ。モグラ的には何歳だとか、そんな甘いことが通用するものでもないだろ？

しかしモグラは諦めなかつた。

係員の足元にそつと近づき、田で訴える。

係員もモグラの存在に気がつき、ひとつと一匹はじぱりくの間無言で見つめあつた。

キラキラキラキラ……つぶらな瞳が訴える。

「う……う

モグラの訴えに反応した係員。危険だとはわからつとも、モグラの願いを聞き入れることにした。

さすがに、足にロープをつけることはできないので、体につけてから飛ぶことにした。

「真っ直ぐに前を見て、両手を広げて飛んでください」

「モグツ！」

訳：了解つ！

「…………」

モグラはなかなか飛べないでいた。

係員は、心中で声援を送りながら、モグラが飛ぶ瞬間を見守っていた。

（思えば、モグラのバンジージャンプなんて初めて見るな。世界でも俺だけだろう）

貴重な体験をした係員は、そんなことを思っていた。

モグラがゆっくりと前に倒れ……飛んだ。

「モ、モグウウツ！」

産まれて初めての体験であるバンジージャンプ。

モグラは感動した。達成感が全身を包み、宙にぶら下がっていた。

係員との握手（？）が終わり、モグラは帰ろうとしていたところ、そこに、またしても偶然雑誌が落ちていた。

「モ、モググ！」

訳：こ、これは！

群馬県利根郡新治村猿ヶ京にあるバンジージャンプス・ポット。

そこは、世界で三番目、日本で一番の高さを持つバンジージャンプス・ポットだった！

(後書き)

今では日本のバンジージャンプスポットはほとんど閉鎖されています。昨今いろいろ訴えられまくりの社会ですからねー。触らぬ神にたたりなしつてことなんでしょう。ご感想お待ちしています。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9320e/>

---

モグラバンジージャンプ

2010年10月28日08時02分発行